

2023_0830「明るさを増すオーロラ（動画）」日々の理科 3310号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

オーロラは太陽からの荷電粒子と地球の上層大気（主として窒素と酸素）が創り出す現象です。太陽の活動状態、荷電粒子の密度や速度、地球上層大気の状態などさまざまな要素で、オーロラの実体（オーロラ・ディスプレイ）は変化し続けます。同じオーロラは二度と現れないということです。

8月中旬に最初に現れたオーロラも、10日の間にずいぶん明るさを増してきました。この日は現地時刻午前1時を挟んで、およそ3時間出現していました。オーロラアークの右上の五角形の星座は「ぎょしゃ座」です。

これから9～10月にかけては、上端部が紫色の珍しいオーロラも出現するので、大変楽しみです。幸い現地の機材は、正常に稼働しているので、今後も観測を続けたいと思っています。

(2023年8月下旬／スウェーデン・ヨックモック郡・ポルユス駅)

